



富県小学校

「まつたけ学習」 10/28



富県小学校の6年生（19人）の皆さんは、毎年恒例の「まつたけ学習」をおこないました。この日は、「まつたけ増産の会」会長の橋爪さん、調理を担当していただく北條さんと渋谷さん、現地で案内をしていただく伊藤さんにお世話になりました。

近年は、まつたけが少なくなり、また「まつたけ増産の会」の皆さんも高齢となって来たため、今年度はこの行事を行わない予定だったそうですが、児童の皆さんがとても楽しみにしていることを聞いて、会の皆さんが「今年度もやろう。」と決め、実施することになったそうです。

児童の皆さんは、はじめの会の後、あらかじめいであったお米に、会員の皆さんからいただいたまつたけや調味料を入れて、まつたけご飯の準備をしてから、まつたけを探りに山に向かいしました。

学校からしばらく歩いて現地に着き、伊藤さんから山の手入れについてお話を聞き、実際に枝の剪定や柴かきを体験しました。その後、いよいよ、まつたけ探しが始まりました。児童の皆さんは、「あかまつの根元の日の当たるところに生える。」という説明を手がかりに、一生懸命にまつたけを探しましたが、夏場の少雨や酷暑の影響で不作という状況があり、見つけることはできませんでした。

それでも、学校に帰って、いただいたまつたけでお吸い物も作り、給食の用意をして、待ちに待った「いただきます。」の時間となりました。調理室がまつたけの香りでいっぱいになり、児童の皆さんは満腹になるまで、おかわりをしました。

橋爪さんは、「子どもたちには、大きくなって他の場所に住んでも、学校でまつたけご飯を食べたことを思い出してほしい。」とお話になり、また、この会がいつまで続くか分からないが、もう少し頑張りたいことや活動ができなくなっても、将来誰かが復活してくれることを期待したいといったこともお話になりました。

富県小学校の子どもたちのために、苦労の中で、貴重な体験の機会を続けていただいている「まつたけ増産の会」の方々の温かな想いに、改めて感謝の気持ちになりました。



左から、会長の橋爪さん、調理担当の北條さんと渋谷さんです。



といたお米に調味料を入れます。



そして...まつたけ投入！



山を案内していただいた伊藤さん



光が入るように、枝を剪定します。



柴をかいて、地面をきれいにします。



一生懸命に、まつたけを探しますが、なかなか見つかりません。



ホウレンソウをゆでて、お吸い物を作りました。



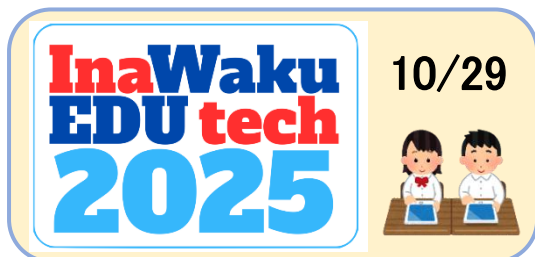
「ばっちり、炊けているよ。」



じゃあ～ん、できあがり！



「おいしい～、幸せ～」



伊那市の教職員研修として、「Ina Waku EDU tech (イナワク エデュテック) 2025」が、伊那市役所多目的ホールをメイン会場にライブ配信され、市内全小中学校の先生方が参加して、ICTを活用した授業実践や新学習指導要領の方向について、学びました。

はじめに、3つの学校から、ICTを活用した実践発表が行われ、西春近北小学校からは、自己表現力を高めるために理科の実験での予想や音楽の鑑賞での実践、長谷小学校からは、個別最適な学びについて算数の公倍数、協働的な学びについて社会の産地調べなどの実践、高遠中学校では、授業・学習計画・校務での活用例が紹介されました。



続いて、文科省初等中等教育局教育課程課長の武藤久慶（むとうひさよし）さんから、「生成AI時代、GIGAスクール時代の学習指導要領改訂の方向性」という演題で、講演をお聴きしました。はじめに、「人口減少・少子高齢化」、「多様性・包括性の重視」「人生100年時代」など6つのトレンドの紹介があり、次に諮問で述べられた課題として「主体的に学びに向き合えていない子の増加」、「学習指導要領の浸透が道半ば」「GIGAスクール構想は緒（いとぐち）に就いたばかり」、「働き方改革との両立・学校現場の負担軽減」の4つについて、豊富な資料や全国各校での実践、教育関係者の言葉からお話していただきました。次の学習指導要領が目指す方向を理解すると共に、自己の日頃の実践を見返し改善点や内容を見つけることができた研修になりました。

長谷小学校「50周年記念音楽会」

10/31



長谷小学校は、今年度創立50周年を迎え、記念式典に引き続き、小中合同の記念音楽会が開かれました。



音楽劇 孝行猿 小学3年生



合奏 僕のこと 混声2部合唱 水平線 中学2年生



音楽劇 地獄のそうべえ 小学4年生



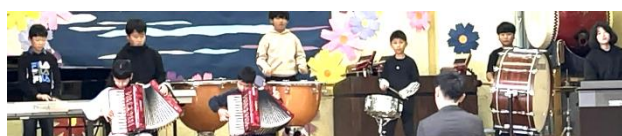
音楽劇 はせたらう 小学1年生



混声3部合唱 どんぐりころころ 高遠高校合唱部
【共演】保育園年長さん・小学校1年生・長谷音楽クラブ・童謡唱歌うたい隊



混声3部合唱 春愁 マツケンサンバⅡ
高遠高校合唱部



同声2部合唱 大切なもの 合奏 ラデッキー行進曲 小学5年生



ハンドベル演奏 崖の上のポニョ 長谷小音楽クラブ



混声3部合唱 さんざ節 スパークル
長谷中音楽部



アンパンマン PTA有志



合奏 StaRt 混声2部合唱 Soranji 中学1年生



音楽劇 スイミー 小学2年生



混声3部合唱 手紙〜拝啓十五の君へ〜中学3年生



混声2部合唱 いのちの歌
合奏 カルメンより前奏曲 小学6年生



混声4部合唱 いつまでも 中学全校

長谷小学校の体育館には、小学生・中学生・保育園の年長さん・高遠高校合唱部の皆さんが集い、保育園から高校生まで幅広い年齢の演奏を聴く貴重な機会となり、保護者や

地域の皆さんも惜しめない拍手を送りました。素晴らしい演奏と共に、改めて長谷地域の良さや一体感が印象に残った音楽会でした。



最後の演奏 賛歌-長谷 全員合唱 この後、児童・生徒・職員・保護者・地域の皆さん、全員で記念撮影をしました！

伊那東小学校 「外国人児童生徒指導研修会」 11/10



伊那東小学校で、長野県教育委員会事務局南信教育事務所主催の「令和7年度第2回外国人等児童生徒指導研修会」が開催され、南信三郡の学校から外国人児童生徒支援担当・学級担任・校内コーディネーター、地域から支援者・支援員・相談員・市町村担当者などの皆さんが参加しました。

はじめに、①日本語教室の児童が原学級に行き学ぶ姿、②通常学級で学習が進められる外国籍児童の姿、③原学級から日本語教室に集まってきて行く個別の学習の姿、という3つのタイプの授業を参観しました。①②の授業では、どの子が外国籍の児童か分からないほど、みんなといっしょになって学んでいる様子がありました。③では、児童が個別学習を進める中で、分からないところを3人の担任の先生に指導を受けることができる体制で、教室内は日本語習得のために、学習資料や掲示物などがしっかり整えられていて、大変参考になりました。



漢字の「空書き」



「ごんぎつね」のリレー読み



「自動車工場の多いところは？」



日本語教室も参観しました。



単語カードが、すぐに使えます。



難しい表現も、ひと目で分かります。



授業研修会 全体協議の様子



「DLA」について、情報交換

授業研究会では、全体で伊那東小学校の日本語教室の学級運営や複数教員での指導方法などについて話し合われ、グループ協議では各校の児童の様子や課題などについて意見交換が行われました。次に、A：取り出し指導について、B：在籍学級における支援・連携について、C：DLAと『ことばのものさし』の具体について、D：個別の指導計画・カリキュラム作成について、E：進学に向けた支援について、という5つのテーマ別グループで情報交換が行われました。

外国人児童生徒等教育を担う教員の資質・能力として、子どもや社会を「捉える力」、日本語や教科、異文化間能力を「育む力」、学校や地域との関係作りをする「つなぐ力」、多文化共生社会の実現や教師としての成長という「変わる力・変える力」を身につけ、日頃の実践から成果や課題を持ち寄って指導のヒントを得たり、同じ外国籍の児童生徒を指導する者同士のつながりを深めたりすることができた研修会になりました。

美篤小学校「地域探検クラブ」

11/11

「青島探検-霞堤防・浅田飴住宅地跡」



美篤小学校「地域探検クラブ」は平成19年度から活動が続けてきており、今年度は、これまで「美篤小学校資料館」、「二番井水路」、「八幡・妙義・子安社」、「六道の堤と末広開田」などの学習をしてきました。講師は、美篤の青島にお住まいで、美篤小学校資料館運営委員会副委員長であり、月刊「伊那路」、井月顕彰会・伊那VALLY映画祭、方言紙芝居、駅伝堤防メッセージ等々、多方面でご活躍の矢島信之さんです。

はじめに、三峰川が源流から方向を変えながら流れていることや三峰川右岸農道（通称ナイスロード）の傾斜等について説明を聞きました。矢島さんは「青島の人のたちにとって、ナイスロードが堤防沿いに通った方が農業はしやすかったけれど、今になってみるとまっすぐな道で通勤通学がしやすく、堤防では散歩やサイクリングを楽しみ、桜を見たり鳥のさえずりを聞いたりすることができて、良かったと思う。」と話されました。

それから、「霞堤防」が洪水災害を防ぐために切れている優れた堤防である理由を聞いてから、実際に切れている場所や水がたまる場所を確認しました。堤防の工事で桜が衰退してしまいましたが、美篤小の先輩や地域の人が桜を植えて大切にしてきたことも教えてもらいました。

次に、「浅田飴社長 堀内家屋敷跡」へ向かいました。浅田飴をなめながら、大正天皇の侍医だった浅田宗伯先生から譲り受けた水飴を、堀内伊三郎さんと妻のせきさん、息子の伊太郎さんが「浅田飴」として完成させたこと、美篤小に多くの寄付をしてくれたこと、伊太郎さんの三男の敬三さんは慶応大学の応援歌を作詞作曲したということ、せきさんは昭和8年に83歳の女性として、飛行機に乗ったことも聞きました。

毎回のクラブで、地域の素晴らしいことをこんなにたくさん知ることができて、とても羨ましく思いました。



三峰川が曲がりくねって流れていることを説明しています



通称ナイスロードの説明中です。

見にくいですが、枝の向こうが、通称ナイスロードです



霞堤防と地図を見ながら説明



A: 堤防が切れているところ
B: 水が、一旦たまる場所



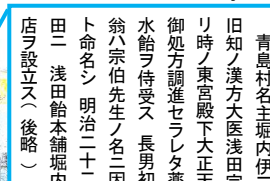
「浅田飴」をもって、堀内家のお話を聞きました



青島遊園地の堀内家屋敷跡



浅田飴本舗 堀内家屋敷跡



青島村名主堀内伊三郎翁ハ
旧知ノ漢方大医浅田宗伯先生ヨリ時ノ東宮殿下大正天皇陛下ニ御処方調進セラレタ薬飴御薬晒水飴ヲ侍受ス 長男初代伊太郎翁ハ宗伯先生ノ名ニ因ミ浅田飴ト命名シ 明治二十二年東京神田ニ 浅田飴本舗堀内伊太郎商店ヲ設立ス（後略）



飛行記念
八十三歳 堀内せき

昭和八年四月十三日